

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	91200	外国青年(英語指導助手)招致事業費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約
	種別			9	教育費		分野	1	学校教育		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		予算	項	1	教育総務費	基本施策	1	義務教育の充実を図る	実施計画事業	外国青年(英語指導助手)招致事業
	内線	3456		目	2	事務局費	施策	1	自ら学び考える力の育つ教育の推進		

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小中学校児童生徒	どうしたいのか(意図)	児童生徒が生きた英語に接し、コミュニケーションする機会を得る中で、英語を中心とする異文化理解の資質を養うとともに、郷土を愛し郷土の文化を尊重する態度を育てる。	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の英語活動の時間に、担任とともに簡単なコミュニケーション活動を行う。</li> <li>・中学校の英語の時間に英語教師とともに英語指導をする。</li> <li>・イングリッシュシャワーや英語スピーチコンテストなどに参加する児童生徒の支援をする。</li> </ul>
	対象者数	8,162 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	英語指導助手(ALT)11名を市内小中学校へ派遣 英語指導助手(ALT)更新に伴う旅費等の費用負担(H23年度は2名更新)						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	英語指導助手の招致	人	目標値	12	12	12	12
成果指標	算出根拠等	各中学校を起点に全小中学校へ派遣	実績値	11	11		
	中学校1学級あたりの平均訪問時間数( /週)	時間	達成率(%)	92	92		
成果面	算出根拠等	11人ALT訪問時数 / 12中学校全学級数	目標値	2	2	2	2
			実績値	2	2		
補足	算出根拠等		達成率(%)	98	98		
			目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	小学校外国語活動の完全実施と中学校での英語の授業時間数の増加に備え、既に小中学校両方に勤務しているALTの実践内容を共有し、小中学校の指導の連携を図った。今後も各学校の要望を聞きながら、現体制の中で訪問校の調整をしたり、ALTが小中学校の校内研修や教育委員会主催の研修会に講師として参加し、教員研修の充実を図ったりして、外国語活動や英語の授業の充実につなげていく必要がある。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	月1回行っているALT会議で小学校外国語活動との中学校英語の円滑な接続のために中学校の授業で使える活動集を作成して、全中学校へ配布し、活用を促している。 また、8月に行う教育研究所主催の夏期集中講座では、ALTを講師にして小学校外国語活動および中学校英語の研修を行う予定である。8月に着任する新規のALT7名に対しては月1回のALT会議やALT同士の授業交流を通して指導力の向上を図り授業の質を高めていく。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	中学校における英語の授業時間数増加に対応するため、英語教師とALTとのチームティーミングの授業の公開及び授業研究会を実施し、中学校英語教諭の指導力向上とALTの指導力向上を図る。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	8,779	8,089	10,800	11,501
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,033	973	1,323	1,426
	受益者	小中学校児童生徒	(B)	8,497	8,313	8,162

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	児童生徒の英語教育を充実するための英語指導助手11名の研修及び着任旅費等の経費	要求のポイント	英語指導助手(ALT)の入れ替わりに伴う経費の増	事業実施の課題	新規に着任するALTの指導力の向上と中学校英語教諭の指導力の向上
------	---	---------	--------------------------	---------	----------------------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	10,800	11,501	701	10,863	10,863	・精算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	10,800	11,501	701	9,763	9,763		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	91210	教職員健康管理費	内線	2359	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策		根拠計画	市長公約
	款					9	教育費	分野					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課					項	1	教育総務費	基本施策		H25実施計画額	千円	
	目	2	事務局費			施策							

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小中学校教職員	どうしたいのか(意図)	教職員の健康維持、病気の早期発見(学校保健安全法に基づく)	概要	事業の実施手法(手段)	・県費教職員及び保健相談員を対象とした胸部レントゲン検査及び県費教職員を対象に健康診断を行う。
	対象者数	602 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	健康診断 154人 1,051千円 胸部レントゲン検査 526人 442千円							
成果面	活動指標	健康診断(胸部レントゲン検査を除く)受診者数	人	目標-実績	H22	H23	H24	H25
		算出根拠等		目標値	174	154	181	185
				実績値	174	154		
				達成率(%)	100	100		
	活動指標	胸部レントゲン検査受診者数	人	目標値	554	526	550	550
		算出根拠等		実績値	554	526		
				達成率(%)	100	100		
				目標値				
				実績値				
				達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
			達成率(%)					
補足	県職員互助会実施の人間ドックを選択する教職員が多いため、対象者数と比較して市で受診する者の人数が少なくなっている。							

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・健康診断日の調整等の事務は、市職員の健康診断業務が既に委託化されていることから、同様に委託化によるさらなる事務の効率化の検討が必要である。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・検査委託先の医療機関ではより精度の高い検査のため機器更新する等教職員の健康維持等に対する取り組みを行っており、検査費用の見直しは困難であった。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・教職員の健康推進のため、継続して事業を実施する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,666	1,492	1,900	1,907
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,559	2,295	2,892	2,728
	受益者	小中学校教職員と保健相談員	(B)	651	650	657

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・県費教職員及び保健相談員を対象とした胸部レントゲン検査及び県費教職員を対象とした健康診断	要求のポイント	学校保健安全法に基づく健康診断の実施	事業実施の課題	教職員等の健康の維持
------	---	---------	--------------------	---------	------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,900	1,907	7	1,900	1,900	・要求どおり	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	1,900	1,907	7	1,900	1,900		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	91215	日本スポーツ振興センター負担金	会計	1	一般会計	政策	根拠計画	市長公約
	課			9	教育費			
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	予算	項	1	教育総務費	基本施策	千円
				目	2	事務局費	施策	

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小中学校児童生徒	どうしたいのか(意図)	各学校において日本スポーツ振興センター保険の有用性を理解し保護者説明を行ったうえで全児童生徒を加入させ、学校管理下における児童生徒の災害補償をすることで、災害発生時の保護者経費負担の軽減を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・保護者の共済掛金の一部を負担する。
	対象者数	8,162 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	共済掛金の一部負担金 8,314人 7,795千円						
活動指標	市が負担した保険料の額	千円	目標・実績	H22	H23	H24	H25
			実績値	4,253	4,158	4,027	3,984
成果指標	保護者が負担した保険料の額	千円	目標値	3,721	3,637	3,673	3,616
			実績値	3,721	3,637		
成果指標	保険加入者数	人	目標値	8,497	8,313	8,162	8,067
			実績値	8,497	8,314		
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
			目標値				
成果指標	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
補足	H23の実績加入者は基準日以降に転入が1名あったため、実績値が目標値を上回った。		目標値				
			実績値				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
補足	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	学校管理下における児童生徒の災害補償制度のため、引き続き保護者への制度周知が必要である。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	本年度も既に昨年度と同様に実施した	
次年度の実施方針	○維持・改善	学校管理下における児童生徒の災害補償をすることによる保護者負担の軽減のため、次年度も実施する
	○維持・改善	
次年度の実施方針	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	○維持・改善	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 7,974	7,795	7,700	7,552
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B) 938	938	943	936
	受益者 小中学校児童生徒	(B) 8,497	8,313	8,162	8,067

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・保護者の共済掛金の一部負担	要求のポイント	対象となる児童生徒数の減少による費用の減	事業実施の課題	保護者への災害補償制度の周知
------	----------------	---------	----------------------	---------	----------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	7,700	7,552	△ 148	7,600	7,600	・要求どおり	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		0				
財源内訳	県支出金		0				
財源内訳	その他	3,673	3,478	△ 195	3,616		
財源内訳	一般財源	4,027	4,074	47	3,984		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	91220	校長会等負担金	会計	1	一般会計	政策	根拠計画	市長公約
	課			9	教育費			
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線 2345	予算	項	1	教育総務費	実施計画事業	千円
				目	2	事務局費	H25実施計画額	

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小中学校児童生徒	どうしたいのか(意図)	児童生徒の健全な育成のための、教職員や学校医等の活動に対してサポートする。	概要	事業の実手法(手段)	・教職員でや学校医で組織される各種団体の上部団体からの分担金の負担および、団体の事業費について助成する。
	対象者数	8,162 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	各種団体への負担金、補助金の支出 負担金 9団体 3,296千円、補助金 1団体 2,700千円						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	負担金・補助金交付額	千円	目標値	6,020	5,996	5,581	5,564
活動指標	交付先団体数	団体	目標値	10	10	10	10
	算出根拠等		実績値	6,020	5,996		
成果面	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
	算出根拠等		目標値				
補足	算出根拠等		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・各機関の連携のため必要な事業であるが、継続して負担先の団体の事業の効率化を要望するなど負担軽減に向けた検討が必要である。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・各機関・団体との連携のため、継続して事業を実施した。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・各機関・団体と連携した事業を効率的に実施する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・それぞれの負担金の内容について精査する必要がある。

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	6,020	5,996	5,581	5,573
受益者	受益者1件当たり(円)	(A/B)	708	721	684	691
	小中学校児童生徒	(B)	8,497	8,313	8,162	8,067

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・教職員でや学校医で組織される各種団体の上部団体からの分担金の負担および、団体事業費への助成	要求のポイント	教職員数の減少に伴う県小中学校研究会負担金の減	事業実施の課題	各種負担金の内容の精査
------	--	---------	-------------------------	---------	-------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	5,581	5,573	△8	5,564	5,564	・精算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	5,581	5,573	△8	5,564	5,564		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	91250	教育研究所運営事業費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約
	種別			9	教育費		分野	1	学校教育	実施計画事業	教育研究所運営事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		予算	内線	3456	目	基本施策	1	義務教育の充実を図る	H25実施計画額	2,700 千円	
	2	事務局費		施策	1		自ら学び考える力の育つ教育の推進					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民(教職員及び保護者を中心とする)	どうしたいのか(意図)	高山市の教育の振興、発展を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育研究センター(「子どもの心に響く教育」の在り方を研究する)</li> <li>教育研修センター(教職員の指導力向上のための研修、市民の生涯学習の機会及び大学との連携を行う)</li> <li>教育相談センター(児童生徒、教職員、市民等からの教育に関する相談への対応を行う)</li> <li>教育資料センター(教育資料の収集、管理提供を行う)</li> <li>であい塾(不登校児童生徒適応指導教室の管理、運営を行う)</li> </ul>
	対象者数	92,861 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	教育研究所・であい塾の運営 教員研修・教育相談の実施 であい塾バスの運行						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	教員研修開催状況	回	目標値	82	84	96	84
成果指標	算出根拠等	毎月7回開催×12	実績値	79	90		
	算出根拠等		達成率(%)	96	107		
成果指標	教員研修参加状況	人	目標値	800	800	850	950
	算出根拠等	実績からの見込み	実績値	1,091	1,100		
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	136	138		
	算出根拠等		目標値				
補足	算出根拠等		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談や不登校児童生徒への対応、教職員の指導力の向上のための教員研修の充実など課題も多く、教育センター機能を高めるために、指導主事の配置人数を増員することが必要である。</li> </ul>
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の状況を多面的に分析・把握するため、ハイパーQUアンケートを実施した。</li> <li>若年層の教員・講師を中心とした研修機会の充実を行った。</li> </ul>	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的なハイパーQUアンケートの実施と有効的な活用を行う。</li> <li>若年層の教員・講師への研修機会を増やし、資質の向上を図る。</li> </ul>
	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校児童生徒の実態把握に努める必要がある。</li> <li>ハイパーQUアンケートの分析・検証を行い、対策を検討する必要がある。</li> </ul>
	○維持・改善	
	○維持・改善	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,441	3,791	7,642	9,890
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	26	41	82	108
	受益者	全市民	(B)	93,822	93,312	92,861

## 5 予算編成(Action2)

<ul style="list-style-type: none"> <li>教育研究センター</li> <li>教育研修センター</li> <li>教育相談センター</li> <li>教育資料センター</li> <li>・であい塾にかかると運営経費</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>県委託事業(防災教育推進事業、幼児教育推進事業)の実施</li> <li>教育研究所パソコンの更新</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の多面的分析の継続実施</li> <li>教育相談やいじめ等の問題、不登校児童生徒への対応</li> </ul>
--	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	7,642	9,890	2,248	4,368	4,368	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> <li>住民生活に光をそそぐ交付金活用事業の終了による減</li> <li>QUアンケートは小中学校運営費で計上</li> </ul>	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金		500	500	500	500		
その他	4,850		△4,850				
一般財源	2,792	9,390	6,598	3,868	3,868		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	91255	特別支援教育推進事業費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約
	種別			9	教育費		分野	1	学校教育	実施計画事業	特別支援教育推進事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		予算	内線	2362	目	基本施策	1	義務教育の充実を図る	H25実施計画額	2,300 千円	
	項目	1		教育総務費	施策		2	一人ひとりを大切にする教育の推進				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小中学校児童生徒	どうしたいのか(意図)	学びにくさ、生活のしづらさなどの困り感を抱えた児童生徒の教育的ニーズに応じて適した指導・援助を行い、その子の自立を支援し社会参加する力を育てる。	概要	事業の実手法(手段)	講演会、相談会、就学指導委員会を開催する。 障がい児等就学支援事業により、医療行為を必要とする障がい児等への訪問看護による支援を行う。
	対象者数	8,162 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>巡回就学相談会、特別支援教育講演会の開催</li> <li>医療行為を必要とする障がい児童等への訪問看護による支援</li> </ul>						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	就学指導委員会の情報交流件数	件	目標値	300	300	300	300
成果指標	巡回就学相談件数	件	実績値	299	296		
	算出根拠等	実績	達成率(%)	100	99		
成果指標	特別支援講演会	回	目標値		1	1	1
	算出根拠等	実績	実績値		1		
成果指標	算出根拠等	実績	達成率(%)	102	125		
	算出根拠等	実績	達成率(%)		100		
補足	算出根拠等	実績	達成率(%)				
	算出根拠等	実績	達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	講演会の充実等により、発達障がい等の障がいに対する市民の理解をさらに深めることが必要である。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	特別支援教育講演会を開催し、市民の意識の活性化を図った。継続して、医療行為を必要とする障がい児童等への訪問看護による支援を行っている。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	特別支援学級在籍児童・生徒の人数の増加に対応するため、障がい児就学相談会や特別支援講演会の開催の回数や規模の拡大を検討をする。
	○ 拡大	
二次評価	○ 維持・改善	これまでの実施事業における効果を検証する必要がある。
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	471	391	620	882	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,575	1,321	1,771	2,321	
	受益者	特別支援を必要とする児童生徒	(B)	299	296	350	380

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演会、相談会、就学指導委員会の開催</li> <li>障がい児等就学支援</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の理解啓発の為の講演会の実施</li> <li>障がい児等への就学支援のための訪問看護の実施</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいに対する市民の理解のさらなる向上と、学びにくさなど困り感を抱えた児童生徒の教育的ニーズの把握</li> </ul>
------	---	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	620	882	262	620	620	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	620	882	262	620	620		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	92200	小学校運営事業費	会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約	
	種別			9	教育費		1	学校教育		実施計画事業		小中学校運営事業、特色ある学校教育活動推進事業
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	2359	項	2	小学校費	基本施策	1	義務教育の充実を図る	H25実施計画額	(小中合算) 60,000、8,200 千円
				目		2	教育振興費		4	教育環境の整備		

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学校児童	どうしたいのか(意図)	・義務教育における公費を負担することで、教育環境を整備し義務教育の充実をはかる。 ・各学校、地域の特色を生かした学校経営を行い、豊かな教育環境を創出する。	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の学校運営にかかる必要経費の管理・執行をする。</li> <li>・新入学児童への防犯ブザー配付、安全帽子贈呈事業を行う。</li> <li>・「特色ある学校経営推進事業」に対して事業費助成を行う。</li> </ul>
	対象者数	5,329 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	学校運営にかかる経常経費 31,349千円 特色ある学校経営推進協議会補助金 4,645千円 教師用指導書・教科書購入 25,789千円 等							
成果面	活動指標	義務教育における公費負担額	千円	目標値	39,400	65,033	38,300	39,400
				実績値	36,179	61,785		
	算出根拠等	達成率(%)	92	95				
	活動指標	小1生児童の新入学用品(ブザー、安全帽子)公費負担額	千円	目標値	1,172	1,148	1,200	1,250
				実績値	1,172	1,148		
	算出根拠等	達成率(%)	100	100				
	活動指標	特色ある学校経営推進協議会補助額	千円	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000
				実績値	5,000	4,645		
	算出根拠等	達成率(%)	100	93				
				目標値				
				実績値				
				達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
			達成率(%)					
補足	「特色ある学校経営推進協議会補助金」については、補助額は下がっているが内容について精査した結果であり、一定の成果は出ている。							

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・特色ある学校経営推進事業については、協議会で各学校の事業計画の内容についてよく精査し、豊かな教育環境を創出する為により高い効果をあげられる事業を実施させるよう、各学校へ指導していく必要がある。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	特色補助金における事業内容については、今年度高山市教育委員会の重点としている「新しい公共としての学校」の視点から地域との連携を図りながら、地域の特色を生かした学校経営の計画を練り上げるように指導をした。さらに均等・認定の取扱いについては協議会で討議し、学校が地域との結びつきを大切に継続的に取り組んでいるもの、認定はその時々で情勢に合わせたタイムリーなものという原則を今後考えていくことを確認した。今年度に関して審査員の得点の合計により判定をした。	
次年度の実施方針	〇維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	事業を継続実施しながら、各校での事業内容が特色を生かした学校経営、豊かな教育環境の創出につながるよう指導していく。
	〇維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・特色ある学校経営推進協議会補助金について引き続き各校の実施内容を精査するとともに、効果を検証していく必要がある。

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	36,179	61,785	38,300	38,300
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	6,365	11,225	7,187	7,394
	受益者	小学校児童	(B)	5,684	5,504	5,329

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	小学校の運営にかかる経費	要求のポイント	事業実施の課題	特色ある学校経営推進事業の効果的実施
------	--------------	---------	---------	--------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	38,300	38,300	0	39,400	39,400	・普通交付税算入額を参考に積算 ・QUアンケートに要する経費を計上	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	0		0	700	700		
一般財源	38,300	38,300	0	38,700	38,700		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	92203	心の教育推進事業費	予 算	会計	1	一般会計	総 合 計 画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約
	種別			款	9	教育費		分野	1	学校教育		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線 2362	項	2	小学校費	基本 計 画	基本施策	1	義務教育の充実を図る	H25実施計画額	(小中合算) 37,000 千円
	目	2		教育振興費	施策	2		一人ひとりを大切にする教育の推進				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	学校生活に「困り感」があり特別な教育支援を必要としている児童	どうしたいのか (意図)	個々の内面に寄り添いながら、一人一人が持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする。	概要	事業の実施手法(手段)	必要とする小学校に、保健相談員を派遣し、特別な教育支援を必要としている児童の支援と心に悩みを持つ児童の心のケアにあたる。
	対象者数	5,329 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	保健相談員 32名を各小学校へ配置						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値	23,125	23,125	23,912
成果指標	算出根拠等	%	実績値	22,923	22,706		
			達成率(%)	99	98		
成果面	算出根拠等		目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
補足							

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	心に悩みを持つ児童の心のケア、外国人児童の生活ケアなどさまざまな支援が必要になっている。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	さまざまな支援が必要になっており、保健相談員だけでなく担任と連携し、相談事業に対応している。	
次年度の 実施方針	維持・改善	心に悩みを持つ児童の心のケア、外国人児童の生活ケアなどさまざまな支援が必要になっているため、相談員のスキルアップ及び相談員の増員により支援を充実する。
	○ 拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	維持・改善	・相談員及び教職員のスキルアップに取り組んでいく必要がある。 ・県に対し、相談員の配置を強く働きかける必要がある。
	○ 拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	22,465	22,252	24,400	50,764
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	3,952	4,043	4,579	9,800
	受益者	小学校児童	(B)	5,684	5,504	5,329

## 5 予算編成(Action2)

事業内容 ・保健相談員の賃金 ・不適応児童等の個別指導 ・心に悩みを持つ児童の心のケア ・外国人児童に対する学校生活でのケア ・障がいのある児童の活動介助	要求のポイント 心に悩みを持つ児童の心のケアに対応できる保健相談員の確保	事業実施の課題
--	---	---------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	24,400	50,764	26,364	27,120	27,120	・普通交付税算入額を参考に積算	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	24,400	50,764	26,364	27,120	27,120		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	92215	小学校教育機器整備事業費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約
	種別			款	9		教育費	分野	1	学校教育	実施計画事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		予算	内線	2358	総計	基本施策	1	義務教育の充実を図る	H25実施計画額		千円
	目	2		教育振興費	施策		4	教育環境の整備				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学校児童	どうしたいのか(意図)	小学校教育機器の整備の充実	概要	事業の実施手法(手段)	学校内で使用する教材備品の購入
	対象者数	5,329 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	教材備品の充実 小学校用教材備品の購入 14,300千円						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	小学校教材備品の購入額	千円	目標値	15,694	14,300	21,500	21,500
成果指標	児童一人あたりの教材備品購入額	円	実績値	15,694	14,300		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
成果面	算出根拠等		目標値	2,761	2,598	4,035	4,151
	児童数: 毎年5月1日現在		実績値	2,761	2,598		
補足	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
			目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・各学校の希望を考慮しながら、学校間のバランスにも配慮した学校教材の整備とその早期発注が課題である。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・各学校の希望を考慮しながら学校間のバランスに配慮した学校教材の整備のため、校長会等と連携して購入する教材の選定基準の検討を行った。
担当課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 ・選定基準を定め、早期発注に努める
二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 (担当課評価に同じ)

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	15,694	14,300	21,500	21,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,761	2,598	4,035	4,151
	受益者	小学校児童	(B)	5,684	5,504	5,329

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	教材備品の整備	要求のポイント	事業実施の課題	早期の発注による備品整備
------	---------	---------	---------	--------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	21,500	21,500	0	21,500	21,500	・普通交付税算入額を参考に積算	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	21,500	21,500	0	21,500	21,500		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	92220	小学校図書整備事業費	予 算	会計	1	一般会計	総合計 画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約
	種 目			款	9	教育費		分野	1	学校教育	実施計画事業	学校図書整備事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課			内線	2	小学校費	基本策 画	基本施策	1	義務教育の充実を図る	H25実施計画額	(小中合算) 69,000 千円	
	3456	目	2	教育振興費	施策	4		教育環境の整備					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学校児童	どうしたいのか(意図)	・全小学校の図書館の蔵書について文部科学省の基準を上回る図書の内容整備及び分野別でも基準を満たす。 ・読書に親しめる環境づくりを進めるとともに、学習・情報センターとして活用できる学校図書館にする。	概要	事業の実施手法(手段)	・学校図書館の管理・運営を行う。 ・分野ごとにバランスの取れた選書による図書購入を行う。
	対象者数	5,329 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書購入 9,579冊</li> <li>・学校図書司書業務の委託化</li> </ul>							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	年間購入冊数	冊	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000
				実績値	8,375	9,579		
		算出根拠等		達成率(%)	84	96		
	成果指標	国の蔵書基準(種別)を上回る学校数	%	目標値	100	100	100	100
				実績値	100	100		
		算出根拠等		達成率(%)	100	100		
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等		達成率(%)					
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等		達成率(%)					
	補足			目標値				
			実績値					
			達成率(%)					

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書システムの活用により、児童が自ら図書を検索し、購入する図書のリクエストをしたり、調べ学習に活用できる図書を見つけて利用したりできるようにするための指導を充実していく。</li> <li>・学習・情報センターとしての機能向上を図るため、図書館主任と学校図書館指導員の協働により、教科書で扱われる題材に関連した図書の展示方法の工夫や通信による紹介など、図書館経営のあり方を充実させていく。</li> </ul>
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書システムの導入に向けて、電算化のための作業を進行中である。</li> <li>・学校図書館図書選書委員会を立ち上げ、各学校の図書の分類別のバランスがとれた選書を行った。</li> <li>・調べる学習コンクールの事前研修会として、全小中学校より図書館主任および学校図書館指導員の悉皆研修を行い、図書館経営のポイントの周知を図った。</li> </ul>	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習・情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、図書主任や学校図書館指導員と連携し、学校図書館システムの効果的な活用を図る。</li> <li>・図書システムの導入後は、図書整理に要する時間が大幅に減ることから、図書指導員と教員が連携し、図書を使った教育を展開していく必要がある。</li> <li>・選書委員会設置の効果を検証し、学習・情報センターとしての機能充実を図る必要がある。</li> </ul>
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○維持・改善		
拡大		
縮小		
廃止検討		

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	19,544	44,097	46,910	44,840
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	3,438	8,012	8,803	8,656
	受益者	小学校児童	(B)	5,684	5,504	5,329

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館の管理・運営</li> <li>・分野ごとにバランスの取れた選書による図書の整備</li> </ul>	要求のポイント	学校図書館システム導入費用の減	事業実施の課題	学校図書館の学習・情報センターとしての機能強化
------	--	---------	-----------------	---------	-------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		46,910	44,840	△ 2,070	44,530	44,530	・精算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	46,910	44,840	△ 2,070	44,530	44,530		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	92235	小学校パソコン教育推進事業費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約
	課			9	教育費		分野	1	学校教育	実施計画事業		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	3456	目	2	項	2	小学校費	H25実施計画額		千円
				2			教育振興費	施策	4		教育環境の整備	

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学校児童	どうしたいのか(意図)	小学校におけるパソコン教育の推進と活用	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン教育の指導</li> <li>・情報漏えい対策</li> </ul>
	対象者数	5,329 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セキュリティソフトのライセンス購入</li> <li>・サーバの保守</li> </ul>						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値	1,540	1,540	1,540
算出根拠等	パソコン設置台数	台	実績値	1,035	1,035		
			達成率(%)	67	67		
成果面	算出根拠等		目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			実績値				
			達成率(%)				
算出根拠等			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			実績値				
			達成率(%)				
補足			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内LANやパソコンが更新時期になっているため、計画的な機器更新とICTを活用した環境整備が必要である。</li> </ul>
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化したパソコンやネットワークの不都合が多いため、修繕による対応を行っている</li> </ul>	
次年度の実施方針	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化したパソコンやネットワークの不都合が多いため、概ね5年を経過したパソコンから順次更新する。また、老朽化したネットワーク機器を更新する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,952	3,261	3,700	28,105
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	519	592	694	5,426
	受益者	小学校児童	(B)	5,684	5,504	5,329

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	小学校におけるパソコン教育推進のための経費	要求のポイント	老朽化したパソコン及びネットワーク機器の更新	事業実施の課題	計画的な機器更新とセキュリティの向上
------	-----------------------	---------	------------------------	---------	--------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		3,700	28,105	24,405	18,660	18,660	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算内容を精査</li> <li>・パソコン、ネットワーク機器の更新に要する経費を計上</li> </ul> 財務部査定のとおり	
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	3,700	28,105	24,405	18,660	18,660		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	92240	小学校要保護及び準要保護等児童援助費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約
	種別			9	教育費		分野	1	学校教育		実施計画事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	2358	項目	2	小学校費	基本施策	1	義務教育の充実を図る	H25実施計画額	(小中合算) 55,000 千円
				2		教育振興費	2		一人ひとりを大切にする教育の推進			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学校児童	どうしたいのか(意図)	経済的理由のため就学困難と認められる児童の就学を奨励する。	概要	事業の実施手法(手段)	保護者に必要な学用品費等の援助や学校給食費の全部または一部を助成する。
	対象者数	5,329 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	要保護・準要保護等児童援助費 353人 19,971千円						
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	援助している児童数	人	目標値	332	353	399	400
算出根拠等			実績値	332	353		
			達成率(%)	100	100		
成果面			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			実績値				
			達成率(%)				
算出根拠等			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			実績値				
			達成率(%)				
補足							

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	景気の低迷や離婚等による収入の減少から、援助が必要な児童をもつ世帯が増加傾向にあるため、予算の確保が必要である。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	就学困難と認められる児童の保護者に対して従前と同様に支援を行い就学を奨励する	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	引き続き、必要な援助、学校給食費の全部または一部を助成することにより就学を奨励していく。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	20,900	19,971	25,550	25,400
受益者	受益者1件当たり(円)	(A/B)	62,952	56,575	61,715	61,205
	援助対象児童	(B)	332	353	414	415

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	要保護及び準要保護児童への就学援助 特別支援学級就学児童への就学奨励	要求のポイント	事業実施の課題	学校と連携した機能の周知の継続
------	---------------------------------------	---------	---------	-----------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		25,550	25,400	△ 150	25,780	25,780	・精算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	2,100	2,270	170	2,100	2,100		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	23,450	23,130	△ 320	23,680	23,680		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	92250	学校教育関係事務費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約
	種別			9	教育費		分野	1	学校教育	実施計画事業		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		予算	内線	2359	総合計画	基本施策	1	義務教育の充実を図る	H25実施計画額		千円
	目	2		教育振興費	施策		1	自ら学び考える力の育つ教育の推進				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学校児童	どうしたいのか(意図)	小学校教育推進上の必要経費(児童の健康診断にかかる手数料等)を負担することで、児童の心身の健全育成をはかる	概要	事業の実施手法(手段)	・小学校児童について学校保健安全法に基づく健康診断を実施する。 ・小学校教育推進上の必要経費のうち主に市主催の行事等に関する経費の管理・執行をする。
	対象者数	5,329 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・児童健康診断 3,966千円 等						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値	6,631	6,531	6,150
活動指標	児童にかかる健康診断実施額	千円	実績値	5,472	5,733		
				達成率(%)	83	88	
成果面	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
				目標値			
成果面	算出根拠等		実績値				
				達成率(%)			
補足	健康診断は適正に行われているが、対象人数の減少により実績値が下がっている。		目標値				
				実績値			
補足			達成率(%)				
				目標値			
補足			実績値				
				達成率(%)			

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	特に課題なし
-----------------	--------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	児童の心身の健全育成のため、適正な執行をする	
次年度の実施方針	○維持・改善	児童の心身の健全育成のため、継続して事業を実施する。
	○維持・改善	
二次評価	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
廃止検討		

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 5,472	5,733	6,150	8,892
受益者	受益者1件当たり(円)	(A/B) 963	1,042	1,154	1,717
	小学校児童	(B) 5,684	5,504	5,329	5,180

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	学校運営に係る一般事務費 児童健診、検尿、心電図検査費用	要求のポイント	・学校保健安全法に基づく児童の健康診断費用 ・自動車用「こども110番」マグネット看板更新	事業実施の課題	児童の健康の維持
------	---------------------------------	---------	--	---------	----------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	6,150	8,892	2,742	6,566	6,566	・積算内容を精査 ・自動車用「こども110番」マグネット看板更新は教育委員会事務局関係事務費に計上	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	6,150	8,892	2,742	6,566	6,566		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	92255	スクールカウンセラー配置事業費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約
	課			9	教育費		分野	1	学校教育		実施計画事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		予算	内線		基本施策	1	義務教育の充実を図る	H25実施計画額	2,000 千円		
				目	2		教育振興費	2		一人ひとりを大切にする教育の推進		

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学校児童	どうしたいのか(意図)	児童生徒及び保護者の心のケアを通して、児童の学校生活への不適応やいじめ、不登校などの問題行動を減少させる。	概要	事業の実手法(手段)	・スクールカウンセラー(臨床心理士)を15校に派遣する。(残り4校については、県費による派遣)
	対象者数	5,329 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・6名の臨床心理士により、約400時間(114回)のカウンセリングを実施。						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	実施総時間数	時間	目標値	400	400	400	400
成果面	算出根拠等		実績値	399	399		
			達成率(%)	100	100		
成果面			目標値				
	算出根拠等		実績値				
成果面			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
成果面			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
成果面			目標値				
	算出根拠等		実績値				
成果面			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
補足			実績値				
			達成率(%)				
・単なる相談活動が行われているだけでなく、相談の実施を通して、スクールカウンセラー、保護者、教員が連携して児童を支援していく流れにつながっていることが大きな成果である。 ・発達障がいをもつ児童生徒の保護者の相談が増えているが、児童の特性を理解して前向きに子育てを行うことの大切さが伝えられている。							

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・児童(本人)、保護者、学校(教員)が連携していく取り組みをスクールカウンセラーを中心にさらに充実させていく必要がある。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・児童の学校生活への不適応やいじめ、不登校などに対応するため、保護者や本人に対する相談活動だけでなく、教員研修にも活用している。	
次年度の課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・児童の学校生活への不適応やいじめ、不登校などに対応するため、継続して事業を実施する。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・ハイパーQUアンケートの分析・検証等により、引き続き児童の学校生活への不適応やいじめ、不登校などの問題行動を「0」にするための具体的な方策について検討する必要がある。

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,036	1,753	2,050	2,050
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	358	318	385	396
	受益者	小学校児童	(B)	5,684	5,504	5,329

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・スクールカウンセラー(臨床心理士)の派遣費用(16校)(残り3校は、県費による派遣)	要求のポイント	事業実施の課題	児童の学校生活への不適応やいじめなど個別具体的な支援の継続
------	---	---------	---------	-------------------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,050	2,050	0	2,050	2,050	・要求どおり	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	2,050	2,050	0	2,050	2,050		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	92265	小学校外部講師活用事業費	会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約	
	課			9	教育費		1	学校教育				
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	2362	目	2	教育振興費	基本施策	1	義務教育の充実を図る	H25実施計画額	(小中合算) 3,700 千円
				2			教育振興費		1	自ら学び考える力の育つ教育の推進		

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学校児童	どうしたいのか(意図)	地域の方々から、総合的な学習の時間・クラブ活動・進路講話・外国語指導等を受け、豊かな学習活動を展開しながら、様々な方面の事柄に興味関心を持たせ、生きる力の礎を築く。	概要	事業の実施手法(手段)	各学校でその地域の特色ある講師や、児童に興味関心を持たせることができる講師を選定し、様々な学習活動を行う。
	対象者数	5,329 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	外部講師による授業時間 950時間						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値	950	950	950
成果指標	補助金を得て行った活動が、児童生徒の生きる力の育成に寄与したと評価している学校数	校	目標値	19	19	19	19
				実績値	19	19	
成果面	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
				目標値			
成果面	算出根拠等		実績値				
				達成率(%)			
成果面	算出根拠等		目標値				
				実績値			
成果面	算出根拠等		達成率(%)				
				目標値			
成果面	算出根拠等		実績値				
				達成率(%)			
補足	算出根拠等		目標値				
				実績値			
補足	算出根拠等		達成率(%)				
				目標値			
補足	算出根拠等		実績値				
				達成率(%)			
積極的に外部講師を活用した活動を実施することで、児童が地域の方々からより専門性の高い学びをする機会が増えた。							

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	子どもたちは、地域の方々から多くの刺激を頂いている。さらに活発に、総合的な学習の時間・クラブ活動・進路講話・外国語指導等を受け、豊かな学習活動を展開しながら、様々な方面の事柄に興味関心をもたせる事業展開が必要である。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	外部講師の活用計画を立て効果的な活用をしている。	
担当課評価	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	継続して、児童に様々な方面の事柄に興味関心を持たせることができる外部講師を活用した事業を行う。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	多様な学習・体験のため、地域の人材を活用した事業として、事業の効果検証を行いながら実施する必要がある。

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,900	1,900	1,900	1,900
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	334	345	357	367
	受益者	小学生児童	(B)	5,684	5,504	5,329

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	外部講師報償費	要求のポイント	事業実施の課題
			多様な学習・体験のため、講師に地域の人材を活用する

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,900	1,900	0	1,900	1,900	・要求どおり	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	1,900	1,900	0	1,900	1,900		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	93200	中学校運営事業費	会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約
	種別			9	教育費		1	学校教育		実施計画事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		予算	3	中学校費	基本施策	1	義務教育の充実を図る	H25実施計画額	(小中合算)60,000、8,200 千円	
	内線	2		教育振興費	4		教育環境の整備				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	中学校生徒	どうしたいのか(意図)	・義務教育における公費を負担することで、教育環境を整備し義務教育の充実をはかる ・各学校、地域の特色を生かした学校経営を行い、豊かな教育環境を創出する	概要	事業の実施手法(手段)	・中学校の学校運営にかかる必要経費の管理・執行をする。 ・「特色ある学校経営推進事業」に対して事業費補助を行う。
	対象者数	2,833 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	学校運営にかかる経常経費 23,630千円 特色ある学校経営推進協議会補助金 5,525千円 等							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	義務教育における公費負担額	千円	目標値	29,000	28,616	42,800	29,700
		実績値	26,278	26,660				
	算出根拠等			達成率(%)	91	93		
	活動指標	特色ある学校経営推進事業補助額	千円	目標値	3,200	3,200	3,200	3,200
		実績値	3,200	3,165				
	算出根拠等			達成率(%)	100	99		
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
				達成率(%)				
	補足	「特色ある学校経営推進協議会補助金」については、補助額は下がっているが内容について精査した結果であり、一定の成果は出ている。						

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・特色ある学校経営推進事業については、協議会で各学校の事業計画の内容についてよく精査し、豊かな教育環境を創出する為により高い効果をあげられる事業を実施させるよう、各学校へ指導していく必要がある。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	特色補助金における事業内容については、今年度高山市教育委員会の重点としている「新しい公共としての学校」の視点から地域との連携を図りながら、地域の特色を生かした学校経営の計画を練り上げるように指導をした。さらに均等・認定の取扱いについては協議会で討議し、学校が地域との結びつきを大切に継続的に取り組んでいるもの、認定はその時々々の情勢に合わせたタイムリーなものという原則を今後考えていくことを確認した。今年度に関して審査員の得点の合計により判定をした。	
次年度の課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	事業を継続実施しながら、各校での事業内容が特色を生かした学校経営、豊かな教育環境の創出につながるよう指導していく。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	26,278	26,660	42,800	29,600
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	9,342	9,491	15,108	10,253
	受益者	中学校生徒	(B)	2,813	2,809	2,833

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	学校の運営にかかる経費	要求のポイント	教師用指導書の購入費の減	事業実施の課題	特色ある学校経営推進事業の効果的な実施
------	-------------	---------	--------------	---------	---------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		42,800	29,600	△ 13,200	29,700	29,700	・普通交付税算入額を参考に積算 ・教師用指導書購入終了による減 ・QUアンケートに要する経費を計上	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	42,800	29,600	△ 13,200	29,700	29,700		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	93203	心の教育推進事業費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約
	種別			9	教育費		分野	1	学校教育		実施計画事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	2362	項	3	中学校費	基本施策	1	義務教育の充実を図る	H25実施計画額	(小中合算) 37,000 千円
						目	2		教育振興費	2		

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	中学校生徒	どうしたいのか(意図)	個々の内面に寄り添いながら、一人一人が持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする。	概要	事業の実施手法(手段)	必要とする中学校に、保健相談員を派遣し、特別な教育支援を必要としている生徒の支援と心に悩みを持つ生徒の心のケアにあたる。
	対象者数	2,833 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	保健相談員 18名を各中学校へ配置						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値	14,800	14,800	14,112
成果指標	算出根拠等		実績値	14,498	14,148		
				達成率(%)	98	96	
成果指標	算出根拠等		目標値				
				実績値			
成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
				目標値			
成果指標	算出根拠等		実績値				
				達成率(%)			
成果指標	算出根拠等		目標値				
				実績値			
成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
				目標値			
成果指標	算出根拠等		実績値				
				達成率(%)			
補足			目標値				
				実績値			
補足			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	心に悩みを持つ生徒の心のケア、外国人生徒の生活ケアなどさまざまな支援が必要になっている。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	さまざまな支援が必要になっており、保健相談員だけでなく担任と連携し、相談事業に対応している。	
次年度の実施方針	維持・改善	心に悩みを持つ生徒の心のケア、外国人生徒の生活ケアなどさまざまな支援が必要になっているため、相談員のスキルアップ及び相談員の増員により支援を充実する。
	○ 拡大	
二次評価	縮小	・相談員及び教職員のスキルアップに取り組んでいく必要がある。 ・県に対し、相談員の配置を強く働きかける必要がある。
	○ 維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	14,208	13,865	14,400	25,382	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	5,051	4,936	5,083	8,792	
	受益者	中学校生徒	(B)	2,813	2,809	2,833	2,887

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	保健相談員の賃金 不適応生徒等の個別指導 心に悩みを持つ生徒の心のケア 外国人生徒に対する学校生活でのケア 障がいのある生徒の活動助助	要求のポイント	心に悩みを持つ生徒の心のケアに対応できる保健相談員の確保	事業実施の課題
------	---	---------	------------------------------	---------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	14,400	25,382	10,982	14,400	14,400	・普通交付税算入額を参考に積算	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	14,400	25,382	10,982	14,400	14,400		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	93215	中学校教育機器整備事業費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約
	種別			款	9		教育費	分野	1	学校教育	実施計画事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		予算	内線	2358	総合計画	基本施策	1	義務教育の充実を図る	H25実施計画額		千円
	項目	2		教育振興費	施策		4	教育環境の整備				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	中学校生徒	どうしたいのか(意図)	中学校教育機器の整備の充実	概要	事業の実施手法(手段)	学校内で使用する教材備品の購入
	対象者数	2,833 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	教材備品の充実 中学校用教材備品の購入 14,515千円						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	中学校教材備品の購入額	千円	目標値	11,348	14,515	16,700	21,700
成果指標	生徒一人あたりの教材備品購入額	円	実績値	11,348	14,515		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
成果面	算出根拠等		目標値	4,034	5,167	5,895	11,472
	算出根拠等	児童数: 毎年5月1日現在	実績値	4,034	5,167		
補足	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
	算出根拠等		目標値				
補足	算出根拠等		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績値				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
補足	算出根拠等		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・各学校の希望を考慮しながら、学校間のバランスにも配慮した学校教材の整備とその早期発注が課題である。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・各学校の希望を考慮しながら学校間のバランスに配慮した学校教材の整備のため、校長会等と連携して購入する教材の選定基準の検討を行った。
担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 ・選定基準を定め、早期発注に努める
二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 (担当課評価に同じ)

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	11,348	14,515	16,700	33,120
受益者	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,034	5,167	5,895	11,472
	受益者	中学校生徒	(B)	2,813	2,809	2,833

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	教材備品の整備	要求のポイント	・学級数の増加による費用の増 ・老朽化した吹奏楽備品の計画的な更新	事業実施の課題	早期の発注による備品整備
------	---------	---------	--------------------------------------	---------	--------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		16,700	33,120	16,420	21,700	21,700	・普通交付税算入額を参考に積算 ・吹奏楽備品の更新に要する経費を増額	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0	5,000	5,000		
	一般財源	16,700	33,120	16,420	16,700	16,700		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	93220	中学校図書整備事業費	予 算	会計	1	一般会計	総合計 画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約
	種 目			款	9	教育費		分野	1	学校教育	実施計画事業	学校図書館整備事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課			内線	3456			基本施策	1	義務教育の充実を図る	H25実施計画額	(小中合算) 69,000 千円	
				目	2	教育振興費		施策	4	教育環境の整備			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	中学校生徒	どうしたいのか(意図)	・全中学校の図書館の蔵書について文部科学省の基準を上回る図書の内容整備及び分野別でも基準を満たす。 ・読書に親しめる環境づくりを進めるとともに、学習・情報センターとして活用できる学校図書館にする。	概要	事業の実施手法(手段)	・学校図書館の管理・運営を行う。 ・分野ごとにバランスの取れた選書による図書購入を行う。 ・学校図書司書業務の委託化を行う。
	対象者数	2,833 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書購入 7,026冊</li> <li>・学校図書司書業務の委託化</li> </ul>					
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	年間購入冊数	冊	目標値	7,000	7,000	7,000	7,000
	算出根拠等		実績値	6,357	7,026		
			達成率(%)	91	100		
成果指標	指標名	単位	目標値	100	100	100	100
	国の蔵書基準(種別)を上回る学校数	%	実績値	92	100		
	算出根拠等		達成率(%)	92	100		
成果面			目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
補足			目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書システムの活用により、児童が自ら図書を検索し、購入する図書のリクエストをしたり、調べ学習に活用できる図書を見つけて利用したりできるようにするための指導を充実していく。</li> <li>・学習・情報センターとしての機能向上を図るため、図書館主任と学校図書館指導員の協働により、教科書で扱われる題材に関連した図書の展示方法の工夫や通信による紹介など、図書館経営のあり方を充実させていく。</li> </ul>
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書システムの導入に向けて、電算化のための作業を進行中である。</li> <li>・学校図書館図書選書委員会を立ち上げ、各学校の図書の分類別のバランスがとれた選書を行った。</li> <li>・調べる学習コンクールの事前研修会として、全小中学校より図書館主任および学校図書館指導員の悉皆研修を行い、図書館経営のポイントの周知を図った。</li> </ul>	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習・情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、図書主任や学校図書指導員と連携し、学校図書館システムの効果的な活用を図る。</li> </ul>
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書システムの導入後は、図書整理に要する時間が大幅に減ることから、図書指導員と教員が連携し、図書を使った教育を展開していく必要がある。</li> <li>・選書委員会設置の効果を検証し、学習・情報センターとしての機能充実を図る必要がある。</li> </ul>

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	16,845	24,947	26,970	26,860
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	5,988	8,881	9,520	9,304
	受益者 中学校生徒	(B)	2,813	2,809	2,833	2,887

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館の管理・運営経費</li> <li>・分野ごとにバランスの取れた選書による図書の整備</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館システム導入経費の減</li> <li>・生徒数の増加による図書整備費の増</li> </ul>	事業実施の課題	学校図書館の学習・情報センターとしての機能強化
------	--	---------	---	---------	-------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		26,970	26,860	△ 110	25,350	25,350	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算内容を精査</li> <li>・学校図書館システム導入完了による経費の減</li> </ul> 財務部査定のとおり	
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	26,970	26,860	△ 110	25,350	25,350		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	93235	中学校パソコン教育推進事業費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約
	種別			9	教育費		分野	1	学校教育	実施計画事業		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	2	教育振興費	基本施策	1	義務教育の充実を図る	H25実施計画額		千円	
							3	中学校費		4		教育環境の整備
			予算	3456								

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	中学校生徒	どうしたいのか(意図)	中学校におけるパソコン教育の推進と活用	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコン教育の指導</li> <li>情報漏えい対策</li> </ul>
	対象者数	2,833 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>セキュリティソフトのライセンス購入</li> <li>サーバの保守</li> </ul>						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値	900	900	900
算出根拠等	パソコン設置台数	台	実績値	712	712		
			達成率(%)	79	79		
成果面	算出根拠等		目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			実績値				
			達成率(%)				
算出根拠等			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			実績値				
			達成率(%)				
補足			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内LANやパソコンが更新時期になっているため、計画的な機器更新とICTを活用した環境整備が必要である。</li> </ul>
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化したパソコンやネットワークの不都合が多いため、修繕による対応を行っている</li> </ul>	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化したパソコンやネットワークの不都合が多いため、概ね5年を経過したパソコンから順次更新する。また、老朽化したネットワーク機器を更新する。</li> </ul>
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,578	1,880	2,380	18,304
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	561	669	840	6,340
	受益者	中学校生徒	(B)	2,813	2,809	2,833

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	中学校におけるパソコン教育推進	要求のポイント	老朽化したパソコン及びネットワーク機器の更新	事業実施の課題	計画的な機器更新とセキュリティの向上
------	-----------------	---------	------------------------	---------	--------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,380	18,304	15,924	12,350	12,350	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> <li>パソコン、ネットワーク機器の更新に要する経費を計上</li> </ul>	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	2,380	18,304	15,924	12,350	12,350		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	93240	中学校要保護及び準要保護等生徒援助費	会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約	
	種別			9	教育費		1	学校教育		実施計画事業		要保護及び準要保護生徒扶助事業
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	2358	目	3	中学校費	基本施策	1	義務教育の充実を図る	H25実施計画額	(小中合算) 55,000 千円
				2		教育振興費	2		一人ひとりを大切にする教育の推進			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	中学校生徒	どうしたいのか(意図)	経済的理由のため就学困難と認められる生徒の就学を奨励する。	概要	事業の実施手法(手段)	保護者に必要な学用品費等の援助や学校給食費の全部または一部を助成する。
	対象者数	2,833 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	要保護・準要保護等生徒援助費 218人 24,776千円						
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	援助している生徒数	人	目標値	187	218	239	246
算出根拠等			実績値	187	218		
			達成率(%)	100	100		
成果面			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			実績値				
			達成率(%)				
算出根拠等			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			実績値				
			達成率(%)				
補足							

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	景気の低迷や離婚等による収入の減少から、援助が必要な生徒をもつ世帯が増加傾向にあるため、予算の確保が必要である。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	就学困難と認められる生徒の保護者に対して従前と同様に支援を行い就学を奨励する	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	引き続き、必要な援助、学校給食費の全部または一部を助成することにより就学を奨励していく。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	21,435	24,776	28,950	32,836
受益者	受益者1件当たり(円)	(A/B)	114,626	113,651	119,628	125,808
	援助対象生徒	(B)	187	218	242	261

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	要保護及び準要保護生徒への就学援助 特別支援学級就学生徒への就学奨励	要求のポイント	対象生徒の増	事業実施の課題	学校と連携した制度の周知の継続
------	---------------------------------------	---------	--------	---------	-----------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	28,950	32,836	3,886	31,800	31,800	・精算内容を精査 財務部査定のとおり	
財源内訳							
国庫支出金	1,800	2,050	250	1,800	1,800		
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	27,150	30,786	3,636	30,000	30,000		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	93245	学校教育関係事務費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約
	課			9	教育費		分野	1	学校教育	実施計画事業	部活動推進事業、中学校各種大会等派遣助成事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		予算	内線	2359	基本施策	1	義務教育の充実を図る	H25実施計画額	9,900 千円		
	目	2		教育振興費								

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	中学校生徒	どうしたいのか(意図)	中学校教育推進上の必要経費(部活動大会派遣等にかかる補助金、生徒の健康診断にかかる手数料等)を負担することで、生徒の心身の健全育成をはかる	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校生徒について学校保健安全法に基づく健康診断を実施する。</li> <li>・中学校教育推進上の必要経費のうち主に市主催の行事等に関する経費の管理・執行をする。</li> <li>・部活動において各種大会へ派遣される生徒、教員等の経費の1/2を補助する。</li> </ul>
	対象者数	2,833 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒健康診断 3,173千円</li> <li>・各種大会派遣補助金 5,525千円 等</li> </ul>							
成果面	活動指標	中学校教育推進上必要な経費の負担額	千円	目標-実績	H22	H23	H24	H25
		算出根拠等		目標値	16,197	16,169	15,525	15,735
			実績値	11,366	12,906			
			達成率(%)	70	80			
	活動指標	生徒にかかる健康診断実施額	千円	目標値	3,197	3,173	3,400	3,363
		算出根拠等		実績値	3,197	3,173		
			達成率(%)	100	100			
	活動指標	各種部活動大会派遣への補助額	千円	目標値	4,375	5,525	8,000	8,000
		算出根拠等		実績値	4,375	5,525		
			達成率(%)	100	100			
	成果指標	県大会以上へ出場した部活のべ数	部活	目標値	107	118	120	
		算出根拠等		実績値	107	118		
		達成率(%)	100	100				
		目標値						
		実績値						
		達成率(%)						
補足								

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	部活動のあり方について検討する必要がある
-----------------	----------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	部活動における公費と私費のあり方を検討する	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の心身の健全育成のため、継続して事業を実施する。</li> <li>・部活動に対して、公平かつ効果的な支援をする。</li> </ul>
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	部活動に対する公費負担のあり方について検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	11,366	12,906	15,525	17,077
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,041	4,595	5,480	5,915
	受益者	中学校生徒	(B)	2,813	2,809	2,833

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	学校運営にかかる一般事務費 生徒健診、検尿、心電図検査費用	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校保健安全法に基づく、生徒の健康診断費用</li> <li>・部活動大会派遣にかかる補助金</li> <li>・自動車用「こども110番」マグネット看板更新</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の健康の維持</li> <li>・部活動にかかる支援方法の検討</li> </ul>
------	----------------------------------	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		15,525	17,077	1,552	16,335	16,335	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算内容を精査</li> <li>・自動車用「こども110番」マグネット看板更新は教育委員会事務局関係事務費に計上</li> </ul>	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	15,525	17,077	1,552	16,335	16,335		

# 平成25年度 事業別予算概要

事業名	93275	中学校外部講師活用事業費	会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめぐして	根拠計画		市長公約	
	課			9	教育費		1	学校教育				
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	2362	目	2	教育振興費	基本施策	1	義務教育の充実を図る	H25実施計画額	(小中合算) 3,700 千円
				項					3	中学校費		1

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	中学校生徒	どうしたいのか(意図)	地域の方々から、総合的な学習の時間・クラブ活動・進路講話・外国語指導等を受け、豊かな学習活動を展開しながら、様々な方面の事柄に興味関心を持たせ、生きる力の礎を築く。	概要	事業の実施手法(手段)	各学校でその地域の特色ある講師や、生徒に興味関心を持たせることができる講師を選定し、様々な学習活動を行う。
	対象者数	2,833 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	外部講師による授業時間 900時間						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値	900	900	900
成果指標	算出根拠等	外部講師活用時間数	時間	実績値	900	900	
				達成率(%)	100	100	
成果指標	算出根拠等	補助金を得て行った活動が、児童生徒の生きる力の育成に寄与したと評価している学校数	校	目標値	12	12	12
				実績値	12	12	
成果指標	算出根拠等			達成率(%)	100	100	
				目標値			
成果指標	算出根拠等			実績値			
				達成率(%)			
成果指標	算出根拠等			目標値			
				実績値			
成果指標	算出根拠等			達成率(%)			
				目標値			
成果指標	算出根拠等			実績値			
				達成率(%)			
補足	積極的に外部講師を活用した活動を実施することで、生徒が地域の方々からより専門性の高い学びをする機会が増えた。						

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	子どもたちは、地域の方々から多くの刺激を頂いている。さらに活発に、総合的な学習の時間・クラブ活動・進路講話・外国語指導等を受け、豊かな学習活動を展開しながら、様々な方面の事柄に興味関心をもたせる事業展開が必要である。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	選択教科がなくなったが、キャリア教育など、それ以外の活用の場面を見出し、外部講師の活用計画を立て効果的な活用をしている。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	継続して、生徒に様々な方面の事柄に興味関心を持たせることができる外部講師を活用した事業を行う。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	多様な学習・体験のため、地域の人材を活用した事業として、事業の効果検証を行いながら実施する必要がある。

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	1,800	1,800	1,800
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	640	641	635
	受益者	中学校生徒	(B)	2,813	2,809

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	外部講師報償費	要求のポイント	事業実施の課題
			多様な学習・体験のため、講師に地域の人材を活用する

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,800	1,800	0	1,800	1,800	・要求どおり	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	1,800	1,800	0	1,800	1,800		